

保育園の自己評価

保育園での自己評価を踏まえ、理念や目標について共通理解を深め、職員の資質向上、職員全体の専門性の向上を図り、保育内容の充実それを振り返って保育に生かし豊かな保育に発展していくため、活用することを目的としています。

令和3年度 自己評価の結果集計

項目	回答	理想的な状態	通常より取り組み、行われている状態	頑張らないといけない状態	改善を要する	回答率	評価・反省	改善策
子どもの最善の利益の考慮		18%	76%	6%	0%	100%	・子どもの発達に合わせたかかわりや働きかけを心がけ、一人ひとりが安心して自己発揮できるようにした。	・保育理念、基本方針、保育目標についての理解を職員間で深めると同時に、子ども一人ひとりの理解も深め、遊びや生活の中で成長を支えていく。
保育環境		38%	56%	6%	0%	100%	・0～5歳児の活動内容にあった保育室の環境構成を行い、のびのびと生活できるようにした。2歳児クラスの食事前のテーブル、椅子を見直し、体に合ったものを準備することで、正しい姿勢で食事ができるようになった。 ・活動、休息の時間をバランスよく設け、一日を健やかに過ごせるようにしている。	・玩具や教材の配置、片づけ方に危険な箇所はないか、日々確認していく。一日の終わりには安全点検を行いながら保育室を整え、翌日の保育に備える。
発達の援助及び連続性		25%	49%	13%	0%	87%	・クラスでの共通理解のほかに月に1度職務会内で各クラスの重要な申し送り事項を周知し、共通理解できるようにした。 ・計画や記録の作成は午睡時間を利用したので大変であったが日頃の記録が役に立ち期日を守ることができた。	・取り扱いに十分に配慮しながら、申し送り事項、引継ぎ事項については文書にし、全員が目を通した後、全体で話し合いをすることにより、時間の短縮を図る。重要な申し送り事項についての会議の時間を増やし、共通理解を深めるようにした。
養護と教育		51%	49%	0%	0%	100%	・年齢や発達に合わせて、食事、着脱、排泄などの介助や援助を行う。食べる、遊ぶ、眠る生活のすべてが成長や健康につながることを日々の会話や生活のやりと里の中で伝えている。 ・アレルギー児への対応について家庭との連携が取りづらいことがあった。	・感染防止対策だけの健康指導ではなく、子どもたちが大きくなることへの喜びや期待を持てるような働きかけを継続していく。 ・アレルギー食に関して、園児の安全を確保するため、保育園では完全除去食で対応する。
保育内容		20%	64%	13%	0%	97%	・コロナ流行の影響で行事の中止や縮小があったが、日々の保育の中では、あそびを通して子ども達が十分に楽しみ自己発揮できる機会もしっかりあった。 ・感染防止対策で計画していた、遊びコーナー、リラクスペースの設置はできなかった。	・感染対策を行いながら、散歩などの園外保育や異年齢交流を積極的に行い、子ども一人ひとりが充実して過ごせる保育空間の提案や見直しを職員間で継続的に行っていく。
育児支援		31%	49%	12%	0%	92%	・保育士間で連絡の伝達が不十分で、保護者から共通理解の徹底を要望された。 ・対面でのやりとりが限られる中、おたより帳やモバイルメールを活用し園での様子や成長を共有できるようにした。	・口頭の伝言だけでなく、記入用にホワイトボードやメモ用紙を準備して、決まった場所に設置することで連絡漏れを防ぐ。次年度はホームページもリニューアルするので、ホームページ上でも園での様子がわかるように活用する。個人情報の取扱いに十分気をつける。
地域支援		4%	14%	29%	6%	53%	・コロナの影響で園外に出での交流はほとんどなく、残念だった。	・地域との交流に大切にしていけるが、過度な活動で園生活や計画に負担がでないように、内容を検討しながら無理なく楽しめるようにしていく。
安全管理 健康管理		43%	46%	9%	0%	98%	・安全チェック表の活用が出来ていない。 ・不審者対応の訓練や研修をうける機会を設けてほしい。 ・玩具の消毒は保育士間で連携し、しっかりと行うことができた。	・安全管理リーダーを設ける、点検日時を決め周知するなど、継続して取り組めるようにする。 ・園内研修の計画に不審者対応や安全管理の内容を組む。
社会的責任		65%	31%	2%	0%	98%	・保護者とのかかわりでうまくいかないこともあったが、その都度相談しながら対応した。 ・園内だけの生活で完結せず、卒園後も子どもたちが生きる力や喜びをもって成長していけるような基礎を培う保育を心がけている。	・保育士が相談しやすい環境や人間関係を築けるよう、対応に困る事案がある場合は主任やリーダーを通して一緒に解決し、その後全体で事例検討する機会を作る。個で考えず園全体の事として考える。